

# 2019年度中間期の連結決算概要

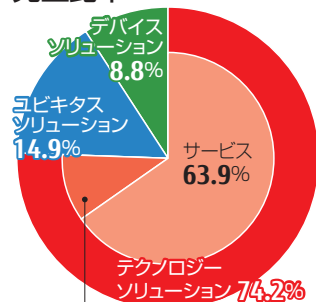
詳細は、当社ホームページ(<https://pr.fujitsu.com/jp/ir/finance/>)に掲載の「2019年度 第2四半期 連結決算概要」をご参照ください。

## 2019年度中間期連結業績

### 決算ハイライト(単位:億円)

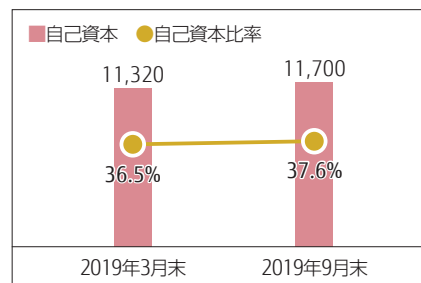
	2018年度中間期	2019年度中間期
売上収益	18,345	18,287
営業利益	952	710
当期利益	811	636
フリー・キャッシュ・フロー	473	673

### 売上比率



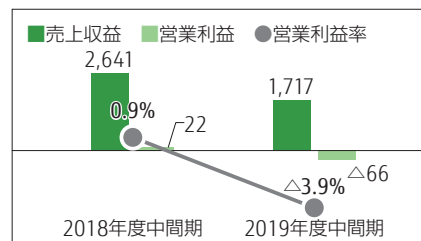
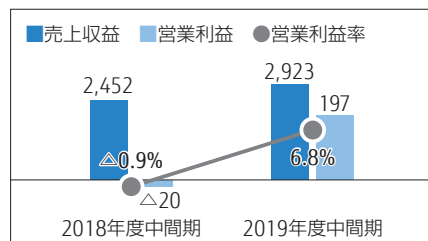
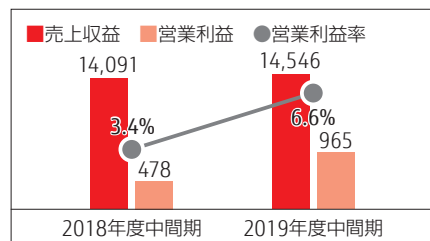
\* 売上収益はセグメント間の内部売上収益を含んでおります。

### 自己資本比率(単位:億円)



\* 自己資本比率は、自己資本÷資産合計により算出しております。なお、自己資本は、資本金、資本剰余金、自己株式、利益剰余金およびその他の資本の構成要素で構成されております。

### セグメント別の概況(単位:億円)



### テクノロジーソリューション

「テクノロジーソリューション」の売上収益は、国内サービスが大きく伸長し、増収となりました。好調な産業流通分野に加え、自治体およびヘルスケア分野の売上も増加し、ソリューション/SIの売上が過去最高を更新しました。インフラサービスについては、国内のアウトソーシングの売上が堅調でしたが、海外での為替影響による減収影響を受け、減収となりました。システムプラットフォームでは、ネットワークプロダクトおよびメインフレームが増収となりましたが、IAサーバの売上が低調だったことにより、減収となりました。営業利益は、国内サービスの増収効果に加えて、サービス、システムプラットフォームともに採算性が好転し、前年同期比で増益となりました。

### コビキタスソリューション

「コビキタスソリューション」の売上収益は、大幅な増収となりました。海外は為替影響により減収となりましたが、国内を中心にパソコンの売上が伸長したことにより、増収となりました。営業利益は、パソコンの増収影響に加え、メモリ等のキーデバイスの価格低下によるコストダウン効果により採算性が好転し、前年同期比で増益となりました。

### デバイスソリューション

「デバイスソリューション」の売上収益は、前年度に実施した事業再編の影響などにより、減収となりました。営業利益は、国内工場の再編費用の計上に加えて、為替が円高に推移した影響などにより、前年同期比で減益となりました。

### その他/消去又は全社

「その他及び消去又は全社」の営業利益は、386億円の損失と、前年同期比で858億円の悪化となりました。前年同期に計上した退職給付制度の変更および事業再編による一時的な利益がなくなった影響などによるものです。

### 株式の状況(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式の総数	207,001,821株
資本金	324,625,075,685円
株主数	123,516名(前年度末比11,023名減)
大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	14,899	7.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	12,942	6.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,799	5.33
富士電機株式会社	5,949	2.94
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	5,616	2.77
富士通株式会社従業員持株会	5,134	2.53
JP MORGAN CHASE BANK 385151	3,864	1.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	3,863	1.91
朝日生命保険相互会社	3,518	1.74
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	3,409	1.68

(注) 持株比率は自己株式を除いて計算しております。